

## 第2期がんばる羽咋創生総合戦略（概要）

### 1 策定の趣旨

人口減少を和らげるとともに、人口減少社会に適応したまちづくりを行うことを目的とする。特に、雇用の創出、移住・交流の推進、結婚・出産・子育てへの総合的支援、安全・安心なまちづくり、持続可能な地域づくりを行うための行動計画として策定する。

### 2 推進期間

令和2年度～令和6年度（5年間）

### 3 推進体制

- (1) 市長を本部長とする「羽咋市まち・ひと・しごと創生本部」による全庁的な対応
- (2) 市民や民間事業者等との協働による推進

### 4 検証体制

外部有識者で組織する「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」と市議会等による精査、PDCAの調査・検証、改善の実施。

### 5 第1期総合戦略の効果検証結果

全101施策のうち、目標を達成したか、目標に向けて順調に推移した施策は75%。また、取組内容の深化・発展及び継続の評価を得ている施策は88%。

目標値に対する 4年目達成率	施策数	評価項目	施策数	率 (%)	
100%超	50	①取組内容の深化・発展（拡充）	◎	36	36
80%以上 100%未満	22	②取組内容の継続	○	53	52
50%以上 80%未満	17	③取組内容の見直し	△	12	12
50%未満	7	④取組内容の中止、終了	×	0	0
未確定	5	合計		101	100
合計	101				

### 6 第2期総合戦略に掲げる人口の将来展望

- (1) 長期的展望（2060年） 13,000人（第1期総合戦略の目標値から変更なし）
- (2) 短期的展望（2025年） 19,000人（第1期総合戦略の同年目標値は19,502人）

### 7 第2期総合戦略の特徴

特に、人口減少社会に対応することをテーマとした、持続可能なまちづくりを構築するため、4つの横断的展開分野と5つの基本目標掲げる。

- (1) 4つの横断的展開分野
  - ①女性に魅力あるまちづくり
  - ②SDGsの理念を取り入れた地域づくり
  - ③IoTやAIなどの未来技術を取り入れた創造社会の実現
  - ④広域連携を生かした能登の魅力発信
- (2) 5つの基本目標
  - ①魅力あるしごとを創出
  - ②羽咋への新たなひとの流れを創出
  - ③若者の生活、子育てを切れ目なく支援
  - ④安全・安心・快適な環境の整備
  - ⑤人口減少時代に対応した持続可能なまちづくり

## 8 基本目標ごとの主な取り組み

### 【基本目標1】魅力あるしごとを創出

- (1) 自然栽培における生産・加工・販売への支援、ジビエ料理の普及・販売促進への支援など、第1期戦略で掲げた重点施策の磨き上げを推進
- (2) 地域商社機能を生かした特産品の開発、道の駅と連携した稼ぐ仕組みづくりの推進
- (3) 企業立地・誘致の推進、女性雇用の優遇支援

### 【基本目標2】羽咋への新たなひとの流れを創出

- (1) 千里浜 I C 周辺の総合的な整備の推進
- (2) 体験型観光の推進やインバウンド観光への対応及び情報発信の充実
- (3) 広域連携による移住施策の推進と充実
- (4) 新婚や子育て世帯などの転入者及び女性転入者への家賃補助の拡充
- (5) 企業版ふるさと納税の活用

### 【基本目標3】若者の生活、子育てを切れ目なく支援

- (1) 女性を主体とした婚活セミナーや広域連携による婚活イベントの充実
- (2) 放課後児童クラブ利用料や給食費の軽減、子育て応援券等の経済的支援
- (3) 都市公園の再整備や魅力ある遊具の充実
- (4) 英語教育、プログラミング教育の推進

### 【基本目標4】安全・安心・快適な環境の整備

- (1) 自主防災組織の防災訓練の助成や防災士育成のための支援
- (2) 新婚・子育て世帯、低所得者向けの新たな公営住宅の整備推進
- (3) 羽咋駅周辺整備を基点としたまちなか再生
- (4) 公共施設の長寿命化及び最適化の推進

### 【基本目標5】人口減少時代に対応した持続可能なまちづくり

- (1) 市民協働のまちづくりの継続、市民による羽咋創生事業の検討・立案の推進
- (2) 地域における生活支援協議体、小さな拠点、地域運営組織の整備の推進
- (3) 商工会・商店街との連携・支援
- (4) 大学や民間企業との共同研究による持続可能なまちづくりの推進